



# 学校だより

横浜市立洋光台第一小学校  
www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai1/

令和4年1月31日発行

令和3年度



## 踏まれて強くなる麦のように

副校長 宮崎 恵子



鳥(からす)啼(な)きて  
木に高く  
人は畑に 麦を踏む  
げに小春日の  
のどけしや  
かえり咲きの  
花も見ゆ

これは、私の好きな歌「冬げしき」(文部省唱歌)の2番の歌詞です。以前から、そして現在も、5年生の音楽の教科書に載っている歌なので、ご存知の方も多いことと思います。さて、この歌詞の中の「麦を踏む」とは、早春のまだ寒い時期に、麦の芽を踏みつける作業の「麦踏み」のことです。以前はその言葉通り、人が畑に入って麦を踏んでいたそうですが、今はローラーやトラクターなどが用いられることも多いとか。どちらにしても、せっかく出てきた麦の芽を踏んでしまうなんて、なんだか可哀想な気がします。でもそんなことはないのです。この「麦踏み」は麦を丈夫に育てるための大切な作業で、これにより霜柱ができたときでも土が持ち上がり麦の根を守り、また、踏むことにより茎がたくさん分かれ、大地に根を張る強い麦に育つそうです。麦は踏まれて強くなるのです。

これは人間も同じではないでしょうか。生きていくということは、楽しいことや嬉しいことだけでなく、辛いことや苦しいこともあるはずで。壁や挫折にぶつかることもあるでしょう。でも、それを経験し、乗り越えることで、人は人として強くなれるのではないのでしょうか。踏まれても踏まれても地面に強く根を張る麦のように、辛いこと、苦しい経験も糧にし、強く、たくましく育ってほしい。そして、壁や挫折を知ることで、人の痛みを思いやれる優しい人になってほしい。子どもたちの歌う「冬げしき」を聴く度に、そんなことを考えます。洋一小の子どもたちも、踏まれて強くなる麦のように、大きく、たくましく育って欲しいと願っています

今、新型コロナウイルスの猛威に苦慮している私達ですが、畑の麦に負けず、ここを乗り越えて春を迎えたいと考えております。そして、今後も感染対策を行いながら、子どもたちの学びを止めず、次の学年に向けて大きくジャンプできるように、支援していきたいと考えております。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。